

令和 8 年度第 1 回草加市立図書館協議会会議録（概要版）

1 開催日時

令和 8 年 7 月 1 7 日（金）午後 2 時 0 0 分から午後 4 時 0 0 分まで

2 開催場所

草加市立中央図書館 4 階多目的ホール

3 出席者の氏名

(1) 委 員 1 1 人

青柳伊佐雄委員長、野田圭介副委員長、菅野光三委員、平野修委員、
松村美乃里委員、金川絵津子委員、柴康子委員、渡邊恒一委員、
高橋亮多委員、小曳京子委員、福田求委員
(菅野委員と福田委員は Z O O M によるオンライン参加)

(2) 事務局 6 人

矢島中央図書館長、伊藤副館長、齋藤庶務係長、日野奉仕・資料係長、
長澤専門員、関根主事

4 委員長及び副委員長の選出

矢島中央図書館長を仮座長とし、委員の互選により青柳伊佐雄委員を委員長に、
野田圭介委員を副委員長にそれぞれ選出

5 議事

(1) 令和 7 年度草加市立中央図書館事業報告について

(2) 令和 8 年度草加市立中央図書館事業計画について

(3) 草加市子ども読書活動推進計画の令和 7 年度進捗管理について

(4) その他

- ア 第三次草加市子ども読書活動推進計画策定に伴うアンケート調査の実施について
- イ 今後のスケジュールについて

6 公開・非公開の別

公開

7 傍聴者数

なし

7 審議の概要

(1) 令和7年度草加市立中央図書館事業報告について 及び

(2) 令和8年度草加市立中央図書館事業計画について

○草加市電子図書館で貸出しをしている電子書籍は、利用期間や利用回数がそれぞれ決められている。利用期間での区切りは主に2年、利用回数は50回ぐらいで、期間や回数が過ぎると貸出しを終了する流れとなっている。電子書籍は貸出期間や利用期間が一定を過ぎると蔵書数が消えてしまうので、予算との兼ね合いにはなるが定期的に購入をしていく必要がある。

○中高生の居場所 LIBCHILL（リブチル）について、今年の3月からプレオープンを行い、4月から毎週木曜日と金曜日の午後4時から正式に開始した。平均で毎回10人ぐらいの中高生が来ている。参加者を見ていると図書館に近いエリアから来ている子もいれば草加市の近隣市にある学校に通っている子もいて幅広いエリアから参加している印象がある。勉強する子もいれば、室内に設置した人工芝に寝転んで過ごす子もいて、勉強以外の目的でも図書館に来てもらえていると考えている。

○中高生の居場所 LIBCHILL（リブチル）に参加しているボランティアについて、大学生以上という対象年齢を設けて募集を行い、現在は12人のメンバーが参加している。70代で参加している方や草加市の地域貢献に関する活動をしている方もいれば、草加市で大学連携をしている獨協大学や文教大学の学生の方も参加している。

○中高生の居場所 LIBCHILL（リブチル）に関する広報について、図書館のホームページの方で開室情報などを公開している。また、草加市立中央図書館の公式Xがあり、そちらでも広報を行っている。その他にも図書館で居場所づくりを行う事例が珍しいということもあり、市でプレスリリースを行ったところ、多くの新聞社から取り上げていただき多くの人に注目される形になっている。

○中高生の居場所 LIBCHILL（リブチル）の取り組みについて、ネーミングも新しい感じがする。若い世代の利用を広げていくためには、良い試みなのかなと思う。

○利用者数や貸出冊数に関する図書館の考えと対策について、入館者数については図書館でWi-Fiが使えるようになったり、イベント等をやったりして、対前年度比で少しずつ増えてきているため、今後も継続していきたいと考えている。貸出冊数については全国的に見ても減少傾向にあるが、貸出冊数減少に対して何もしないというわけではなく、公民館・文化センターを利用したイベントなど、図書館にこない新規の潜在的利用者を獲得できるような取り組みから貸出しに結び付けたいと考えている。

○草加市立中央図書館は、立地の良さから市民の居場所になっていること、児童サービスや学校施設を利用したネットワークが強みである一方、来館者数の増加が貸出冊数の増加に繋がっていない弱みがあると感じている。来館者数が増える一方で貸出冊数が減っているとなると、市民の方は何をするためにこの図書館に来ているのかという分析が必要になると思う。せっかく利用者が増加しているのなら、さらに社会教育や生涯教育的なサービスに繋がっていただければと思う。

○オンラインデータベースに関して、草加市で契約しているオンラインデータベースは新聞記事を検索できる「ヨミダス」や日経ビジネスが提供している「日経テレコン21」などがある。他の公共図書館が行っているようなオンラインデータベースとビジネス支援をつなげるようなサービスや市内の地場産業や特定の団体とオンラインデータベースを活用したサービスは行っていない。今後、図書館で契約しているオンラインデータベースを使って何かしたいという話をいただける機会があれば検討していきたい。

(3) 草加市子ども読書活動推進計画の令和7年度進捗管理について

○進捗管理表の項目によってはなかなか当初の目的に達していないという課題も見えている。一方で内容によっては報告にもあったように目標を達成しているという箇所もあり、両方の側面が反映されていて興味深いと感じた。

(4) その他 第三次草加市子ども読書活動推進計画策定に伴うアンケート調査の実施について

○アンケート調査の回答方法について、アンケート調査の依頼文の中にQRコードを掲載し、そちらのQRコードを読み込んで各アンケートのページへ遷移し、学校の授業時間に回答するのではなく、家に持ち帰って各家庭の中で回答する形式を考えている。学校側での回答の回収がなくなるため、負担は多少減ると思われる。

○各家庭で回答する形式であれば特に問題はないし、協力しやすいと思う。ただし、強制力のない各家庭での任意での依頼となると、回答が集まらない可能性もあるので、できるだけたくさんの方が答えてくれればいいと思う。